

議会だより

あまぐち



令和4年11月5日 3年ぶりに開催された「ふれあいまつり」で恒例の議会クイズを実施しました

3年ぶりに意見交換会を開催

一般質問

2~3
8~14

民生委員・児童委員 なり手不足に向けた対応は
新しい図書館建設の予定は
南保育園建て替えの考えは ほか

議会あれこれ

15

おおぐち町民一日議会を開催します ほか



大口町議会
ホームページ

No.235
令和5年1月27日
発行：愛知県大口町議会

3年ぶりに意見交換会を開催

令和4年11月、コロナ禍により中止していた意見交換会を3年ぶりに開催しました。今年度は、総務建設常任委員会、文教福祉常任委員会がそれぞれ2グループに分かれ、延べ4団体と町政などについて意見を交わしましたので、その概要をお伝えします。なお、頂いたご意見や要望については内容を精査のうえ、町長へ要望書などを提出する予定です。

総務建設常任委員会

日時

11月9日（水）

午後1時30分から

3時まで

概要

主に6つの視点（多文化共生、生活支援、シニアプロモーション、子ども会、文化協会、人が集まる空間づくり）に関し、意見交換を行いました。

相手方団体

特定非営利活動法人

まちなつと大口

（4人）

議員

委員長 岡

委員 江幡、酒井、

丹羽勉（4人）

この2年、コロナで様々なイベントができなかったこともあり、地域の繋がりの希薄化が一因と思われる様々な問題の提起をして頂きました。



12月定例会の概要

12月定例会を11月30日から12月20日までの21日間の会期で開催しました。

○町提出（議案31件）

【全会一致で可決】議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正ほか25議案

【賛成多数で可決】町職員の定年等に関する条例の一部改正ほか4議案

※賛否の分かれた議案の詳細については6ページをご覧ください。

○委員会提出（1議案）

【賛成多数で可決】大口町議会の個人情報の保護に関する条例の制定

○一般質問 7人の議員が町政全般にわたり質問しました。【関連記事7～14ページ】

○請願 4件の請願を審議しました。【関連記事5ページ】

文教福祉常任委員会

日時

11月25日（金）

午後7時から8時まで

場所

町民会館大会議室

相手団体

大口町商工会

青年部役員・事務局員

（6人）

議員

副委員長 江口

委員 鈴木、丹羽孝、

齋木

（4人）

概要

議会や町政に係る質問
および要望を元に、意見
交換を行いました。

「桜の季節にお祭りを」
「道路整備を」「公園を
増やして」「中学生の素
行の悪さを見聞きするが」
「中学校の制服改正は」
に関し、要望を頂きました。



日時

11月8日（火）

午後2時から3時まで

場所

生きがい活動

支援センター

相手団体

大口町社会福祉協議会

（4人）

議員

副委員長 佐名

委員 吉田、伊藤、

倉知

（4人）

概要

町内で実施している在
宅福祉事業、通所介護事
業についてお聞きし、デ
イサービスやミニデイサ
ービスの現状などについ
て意見を交わしました。
介護予防に力を入れて
取り組んでいるが、事業
収益が少ないため経営が
苦しいとのことで、新た
な事業を受託できれば、
サービスをより充実させ
ることができるとの意見
を頂きました。



日時

11月8日（火）

午後3時15分から4時15分まで

場所

健康文化センター4階

ふれあい4

相手団体

大口町社会福祉協議会

（5人）

議員

委員長 大竹

委員 近藤、齋木、

倉知

（4人）

概要

お助け隊サービス事業
ふれあいサロンの現状な
どをお聞きしました。
ごみ出し、清掃、買い
物代行などを行う「お助
けサービス隊」の会員が
少ないため、会員を増や
したい。また、各地区で
実施しているふれあいサ
ロンについては、参加者
の低迷が続いているため
これを改善したいといっ
た意見を頂きました。

10月臨時会の概要

10月臨時会を10月28日に1日の会期で開催しました。

○町提出（議案1件）

【全会一致で可決】一般会計補正予算（第7号）

（主な内容）電気料金やガス料金などの高騰に伴う予算の不足分や、インフルエンザ予防接種や新型コロナウイルスワクチン接種に関する費用などを追加。

質疑 あれこれ

本会議での議案質疑、及び総務建設、文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

補正予算

西小改修工事の事業年度を前倒し

(一般会計補正 第9号)

西小学校長寿命化改修工事の事業年度を前倒したことによる工事費の追加や、財源となる国庫補助金や町債の借入額の増額などを計上。

歳入でたばこ税が増収

問 歳入でたばこ税が増額されているが、その要因は。

答 紙巻きたばこの販売量は年々減少しているが、加熱式たばこの販売量が増加したため。



町制60周年事業

問 記念式典で役場南ひろばにてマルシェを実施することだが、現時点でどのようなイベントを計画しているのか。

答 マルシェは町内事業者や団体などに限定して出展を募集しているところ。また、にぎわい創出事業と連携したキッチンカーの出店も計画している。このほか、ラグビーの体験会も計画している。

医療費補助

問 精神障害者医療費助成の医療費が高く推移している理由は。

答 全体的に前年度と比較すると、医療機関に受診される方が増えたことが要因。

児童センター運営事業

問 本町では児童センターの名称だが、児童館と児童センターの違いは何か。

答 児童館の機能に加え運動を主とする遊びを通じて体力増強をはかることができる施設を児童センターという。



コロナが収まり無事に記念事業が開催できることを祈ります (役場南ひろば)



北児童センター (下小口三丁目地内)

商工業振興補助金の減少

問 商工業振興事業補助金の減少は、半導体不足と従業員不足のためと説明があったが、どういった内容か。

答 補助事業対象としていた企業の設備が、半導体不足と海外の製造工場からの従業員不足のため導入されず、完成時期が遅れ対象補助金が減少した。

雨水対策

問 矢戸川のフラップゲート設置場所はどこか。

答 豊田地区及び替地地区に各1か所設置（いずれも(株)東海理化東側の矢戸川）。



五条川に設置されているフラップゲート

西小長寿命化工事

問 小学校整備事業で西小の工事を前倒しすることにより補助金の加算率が上がるようだが、加算率はどの程度か。

答 県から約10%と聞いているが確約はされていない。



議会でも工事の途中経過を見学させていただきました（関連記事は15ページ）

図書館運営事業

問 図書館で新しいシステムを導入したとのことだが、貸し借りの情報は図書館により取り扱いはらつきがある。本町はどういったデータを取り扱うのか。

答 個人情報保護の観点から、利用者が借りた内容などの情報は持たないシステムを導入している。



新しく導入したシステムにより、利用者自身で本の貸し出し手続きが行えます

請願・陳情

12月定例会に提出された4件の請願と3件の陳情は、それぞれ所管の常任委員会で審査しました。紙面の都合上、各1件のみ掲載します。

その他の請願、陳情の件名については議会ウェブサイトにてご覧いただけます。（下記参照）

【請願】

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書

（不採択）

請願者

愛知自治体キャラバン

実行委員会

代表者 森合 光夫

紹介議員

江幡 満世志

【陳情】

「地元自治体との連携による経営支援体制確立と地域商工業振興に対する施策の拡充・強化」陳情書

（趣旨採択）

陳情者

愛知県商工会連合会

会長 新美 文二

大口町商工会

会長 舟橋 浩司

他3名

請願・陳情の
審査結果等は
こちらをご覧ください。



<https://www.town.oguchi.lg.jp/2744.htm>

大口町ホームページ ⇒ 町議会
⇒ 請願、陳情一覧

定例会で賛否の分かれた議案

○=賛成、×=反対 ※議長は採決に加わらないため空欄

議案等名称	吉田	江幡	佐名	鈴木	近藤	江口	岡	酒井	大竹	伊藤	丹羽孝	丹羽勉	齊木	倉知
① 職員の定年等に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
② 職員の給与に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
③ 職員の降給に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
④ 個人情報の保護に関する法律施行条例の制定	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
⑤ 情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
⑥ 大口町議会の個人情報保護に関する条例の制定	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

賛否が分かれた議案の討論要旨は次のとおりです

① 職員定年等条例の改正

法改正に伴う職員の定年の引き上げ、管理職の年齢制限などを定める。

職員が気概を持って働ける環境を

反対 江幡満世志

年金支給年齢の引き上げもあり定年延長は良いことと思うが、昇格へ一スガ遅くなるなど、精査された内容とは言い難い。国の法改正に伴うものだが、自治体の現状に即した内容でなければならぬ。もっとよく検討を。

賛成 酒井正宗

国家公務員の定年延長を基準に定められるもので、役職定年により昇進機会の確保や、60歳を超えた際の給与水準も現行の制度に比べて改善される。また、働き方の選択肢も増え、自身にとって最良なものを検討できるようになっている。

② 職員給与と条例の改正

定年延長に伴い60歳を超える職員の給与について特例等を定める。(60歳になってから最初の4月1日以降の給料を7割に減らすなど)

不明瞭極まりない改正

反対 江幡満世志

人事院の意見書には現役世代の年功賃金を抑える方法とも読めるし、一旦は減らす、しばらく経ったら減額幅を減らすとも読め、不明瞭極まりない内容の改正。

賛成 丹羽孝

定年延長に伴い給与に関する必要な条例改正であり、適切な内容であるため賛成。
今後、職員の処遇にあたっては、モチベーションの持続を念頭とした適切な人事制度の運用をお願いしたい。

③ 職員の降給条例の改正

②に関連し、降給の種類に60歳になってから、最初の4月1日以降に支払われる給料が7割になることを加える。

①②と同様の趣旨で反対

反対 江幡満世志

①②と同様の趣旨で反対。

賛成 江口昌史

民間企業における高齢期雇用の実情を考慮し、社会全体の給与水準を参考として決定される国家公務員と同様の考え方によるものと理解できる内容。

④ 個人情報保護法施行条例

法律改正で官民の個人情報保護制度が統合されることにより現行の条例が廃止されるため、法律の規定に基づき必要な事項を定める。

独自制度を蔑ろにしている

反対 江幡満世志

情報技術の発達により、行政のデジタル化が進められるものとしても、個人情報保護がおざなりになっている。我が国の個人情報保護制度の構築経過からすれば、地方自治体独自の個人情報保護制度を蔑ろにするとは許されない。

賛成 酒井正宗

統一ルールで適正利用に繋がる官民統一した全国共通のルールに基づく取扱いをすることで個人情報の定義が一元化され、適正な個人情報の利用に繋がるものと考えられる。

⑤ 情報公開・個人情報保護審査会条例の改正

④及び議会の個人情報保護条例制定に伴う改正。

④と同様の理由で反対

反対 江幡満世志

④の制定に伴い個人情報保護条例及び特定個人情報保護条例を廃止するための改正だが、④と同様の理由で反対。

賛成 鈴木和江

制度改正に併せた必要な措置とするもので必要な措置。

⑥ 議会の個人情報保護条例

法律改正で議会は町が定める条例の対象から外れたため独自に制定する。

この内容で守られるか不安

反対 吉田正

必要だと思うが、この内容で守られるのか不安。

賛成 討論なし

町政を問う

7議員が質問

ここが聞きたい!

大口町
ホームページ
「一般質問」



YouTube
チャンネル名
「大口町議会」



「一般質問」とは、町政全般にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

江口昌史 今後の男女共同参画推進の展開は…………… P8
民生委員・児童委員 なり手不足に向けた対応は

吉田 正 保育士配置基準に1人増員を…………… P9
通信制サポート校の授業料助成を

鈴木和江 新しい図書館建設の予定は…………… P10
帯状疱疹ワクチン接種の補助を

伊藤 浩 全国学力・学習状況調査 今年度の小6、中3の結果は…………… P11
中学校、今後の10年の展望 ブロック活動の現在の進捗状況は

佐名かよ子 ヤングケアラー支援 コーディネーター配置の考えは…………… P12
20代、30代のがん患者支援 在宅支援事業を導入する考えは

江幡満世志 高齢者の外出支援 巡回バスの無料パス配布の考えは…………… P13
旧統一協会問題 広報誌などで相談窓口の周知を

倉知敏美 南保育園建て替えの考えは…………… P14
新型コロナ対策支援 近隣市町と協働で実施できないか

追跡

1年前の一般質問から

あれから どうなった?

議会だよりでは、1年前の一般質問から2題を選び、あれからどうなったかを調査しました。

18歳までの医療費無償化を

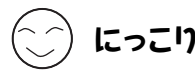
江幡満世志

問 地方消費税交付金を活用して通院も無償化にする考えは。

答 本町では社会保障施策の財源として地方消費税交付金の充当先を決めている。福祉医療助成事業に関しては、その性質上、持続可能な制度である必要があることから、町単独事業となる助成対象の拡大については慎重に取り扱う必要がある。

現行の入院医療費に加え、令和5年4月診療分から、18歳到達年度末までの方(就労されている方を含む)の通院医療費(保険適用分)助成を拡大する。

質問者の満足度



にっこり

多くの人が要望した結果、実現されて大変良かった。

こうなった

医療用ウィッグ等の購入費助成を

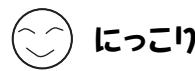
佐名かよ子

問 がん患者への医療用ウィッグ等購入費の助成、アピアランス支援(外見変化の支援)を。

答 令和3年8月に愛知県から購入費助成について実施状況の調査があり、本町は実施を検討すると回答。しばらく県の動向を注視したい。

令和4年10月1日から「がん患者医療用補助具購入費補助事業」を開始した。12月6日現在で2人の方から医療用ウィッグ購入費の申請があり、補助金を交付した。

質問者の満足度



にっこり

病気治療により外見の変化に悩む人へ寄り添う支援の実現に感謝。

今後の男女共同参画推進の展開は

地域協働部長 NPO団体と地道に取り組みたい



令和4年12月定例会
一般質問(江口議員)

問

本町は課長補佐級以上への女性の登用率を令和5年の目標値として17%を掲げている。また、審議会等への女性の登用率は30%としているが、その達成率は。

地域協働部長

課長補佐級以上への女性の登用率は、4年度の実績は16・3%で、5年前と比較して5・7ポイント増加。
また、審議会等への女性の登用率についても4年度の実績は25%と、5年前と比較して7・1ポイント増加。

また、審議会等への女性の登用率についても4年度の実績は25%と、5年前と比較して7・1ポイント増加。

ジェンダー教育とは

性別にとらわれず全ての人の人権を尊重する態度を育むもの

問

町内学校におけるジェンダー教育はどの程度進んでいるのか。

生涯教育部長

中学校では3年度に3年生、教員、保護者を対象に性的少数者の方を講師に招いて講座を開催。子供達には、多面的・多角的に物事を考えられるようにするなど学校毎に学ぶ機会をつくる工夫をしている。

参加者などからも好評を得ているため、今後も地道に取り組んでいきたい。

問

男女共同参画を推進する目的は、社会でつくられた男女の役割分担をなくし、意識の変革と向上を図ることだが、今後はどのように事業を行っていくのか。

地域協働部長

本町では、録団体「ハモーン」が、行政目線ではなく、女性や若者などの多様な住民目線から、誰にも馴染みやすく分かりやすい表現で、意識啓発を促す広報誌へのコラム掲載や、パンフレットの作成、講演会などを企画実施している。
参加者などからも好評を得ているため、今後も地道に取り組んでいきたい。

民生委員・児童委員

なり手不足に向けた対応は

部長 参加しやすい環境づくりを考える



赤い羽根募金活動も民生委員活動の一つ

問

本町の民生委員・児童委員の人数、配置は適正か。

健康福祉部長

委員1人あたり約30〜60世帯を担当しているが、行政区など地域の実情に合わせた人数配置で概ね適正であると思われる。

問

将来的な民生委員の成り手不足の解消に向けて、現役世代が働きながらでも活動できるように、会議や研修を夜間や休日開催するなどして、より幅広い層から多様な人材を発掘し、育てていく環境づくりが必要だと考えるが、本町の見解は。

健康福祉部長

大口町民生委員協議会では、これまでも病気や仕事などの理由で出席できない委員に対し、柔軟な対応を行っているが、今後、定年齢の引き上げによる社会の変化を見据え、働きながらでも気兼ねなく参加できるような環境づくりを大口町民生委員・児童委員協議会と意見交換を行いながら進めていきたいと考えている。



保育士配置基準に1人増員を 部長 保育士不足の問題もあり難しい



令和4年12月定例会
一般質問(吉田議員)



問 70年以上も見直しされていらない保育士の配置基準がある。5歳児は30人で保育士1人の基準だが、45人にならないとクラス数は増やせない。保育士の配置基準に1人増やす目標を持ち、子供も保護者も保育士も安心して利用できるようにすべきでは。

健康福祉部長 現在のところ、今の基準に1人増やすという配置は、職員採用で募集してもなかなか人が集まらないといった保育士の人材不足の問題もあり、実は困難だと考えている。引き続き保育士の負担軽減と安心して保育を行うことのできる環境の整備に努めながら、保育の充実に努めていきたい。

通信制サポート校の授業料助成を

部長 次世代育成の観点で制度を検討

問 サポート校と呼ばれる学校は、本部が県外にあり、実際に運営しているのは異なる団体である。

看板を掲げている高校の授業料は、国の無償化の対象になっているが、運営団体の授業料は対象になっていない。保護者負担は、通信制サポート校の方が高いため、町独自に助成することを求める。

生涯教育部長 令和5年度の入学当初から全日制の学校へ通っている方と同じような制度設計ができないか検討してきたが、学校教育法に基づかない通信制のサポート校については教育と少し線引きをしないと、いけないという面もあり、苦慮している。

県内に本校を置かない学校へ通われている方も全日制学校については支援しており、通信制についても同様の対応をしていきたい。サポート校については、教育制度とは少し切り離して、町として可能な範囲で次世代育成の観点で制度設計ができないか検討している。

サポート校とは

通信制高等学校に通う生徒や高卒認定試験合格を目指す人に対して、学習支援などを行う教育施設

大口中学校卒業生の通信制高校進学状況 (単位: 人)

年度	卒業生	うち通信制高校進学者
平成29	231	11
30	226	6
令和元	233	11
2	213	5
3	247	8

新しい図書館建設の予定は

部長 事業費確保の見通しが立たない



令和4年12月定例会
一般質問(鈴木議員)

問 住民の皆さんから図書館建設の要望があるが、建設の予定は。

生涯教育部長 平成25年に教育委員会

では図書館建設の要望書を出している。

問 本町の図書館は、かなり狭いところも見受けられるが、車いすの入館は可能か。

生涯教育部長 車いすを利用されている方は、家族などの介添者を同伴して来館されている。

ただ、その後の財政状況や福祉関連政策の需要が増える中で、事業費確保の見通しが立っていないのが現状。

なお、中央公民館2階のフリースペースにはフリーWi-Fiの環境を整備している。



現在の図書館

たいじょうほうしん 带状疱疹ワクチン接種の補助を

部長 国の動向など情報収集に努め研究

問 水ぼうそうにかかる子供が激減した結果、親がウイルスに触れる機会が減り、带状疱疹が増えている。50歳以上に好発し、80歳以上では3人に1人が発症する。

そして、70歳以上の罹患者の2割の人に後遺症が残るとのこと。ワクチンの接種費用は高額なため、それを補助することはできないか。

健康福祉部長 国において定期接種化を検討するワクチンの一つに含まれているが、現在のところ期待される効果や導入年齢に関して、引き続き検討が必要とされている。

接種費用の助成については、まだ一部の自治体が補助しているだけであるため、引き続き近隣市町の検討状況などを情報交換しながら、国の動向の情報収集にも努め、研究していきたいと考えている。

問 本町の80歳以上の方の3分の1、約600人が罹患すると仮定すると、その2割の約120人に後遺症が残ることが想定される。80歳以上になれば、後遺症は2割にとどまらないと考えられるが、このことについて町はどのように考えているか。

健康福祉部長 带状疱疹を予防するためには、食事や睡眠をしっかりとり、適度な運動やリラクゼーションした時間を持つことでストレスを減らし、免疫力の低下を防ぐなど、日頃から体調管理を心がけることを皆さんにお知らせし、発症予防、重症化予防の啓発に努めていきたい。



全国学力・学習状況調査

今年度の小6、中3の結果は

部長 小6は全国平均並み、中3は高い



令和4年12月定例会
一般質問(伊藤議員)

4年度全国学力・学習状況調査 全国平均との比較

	国語	算数(小) 数学(中)	理科
小6	同等	同等	同等
中3	やや上回る	上回る	上回る

生涯教育部長 小6は両年度とも全国平均と同程度。中3の3年度は全国平均と同程度、4年度は全国平均より高い。(表参照)

問 令和3年度と4年度の小6、中3それぞれの結果は、全国平均と比較してどのようなか。

問 「大口学びスタイル」「大口町家庭学習のスタンダード」「家庭での子育て10か条」で、学力向上の大きな要因は。

生涯教育部長 何を尺度に評価をするのが非常に難しく、またその要因を絞ることも難しい。

問 学習状況調査で家庭での学習時間の確保と過ごし方で、良いところや課題が見られる項目は。

生涯教育部長 授業以外の学習時間が全国平均に比べて短い年度においては、平均点がやや低い傾向がある。

ただ、いずれの結果も本町の例年の傾向なのか、その学年の児童生徒個々の特性なのか、このあたりは調査結果から導き出されるものではないのかもしれない。

問 「大口中学校の今後の10年の展望」のうち、「ブロック活動の自治・自浄能力の育成が、中学校の指導方針の基盤になるよう、学校運営を支援していきます」について、進捗状況は。

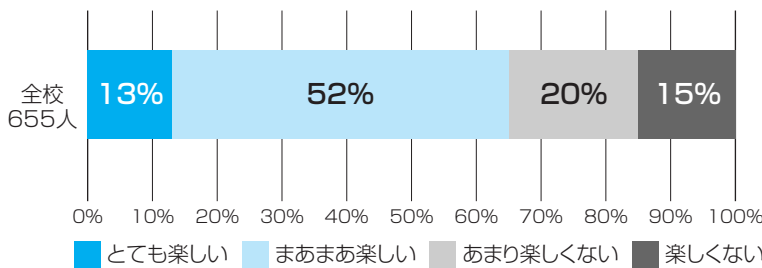
中学校、今後の10年の展望 ブロック活動の現在の進捗状況は 部長 充実に向け新たな取り組みを実施

問 教育長は、現時点で「今後の10年の展望」10項目の中で一番実現したいことは。

教育長 いずれも甲乙つけがたい内容だが、私が教師になった頃から中学校の部活動の在り方が議論されていた。

近年、ようやく地域移行について様々な選択肢が提示され、その具体的な動きが各地である。本町もNPO団体などと連携して取り組みを始めたところで、10項目のうち「地域の諸団体との連携」という側面を突破口にして進めていきたい。

ブロック活動は楽しいですか (令和3年11月調査)



ヤングケアラー支援

コーディネーター配置の考えは

部長 統括支援員として配置を検討中



令和4年12月定例会
一般質問(佐名議員)

問 町でヤングケアラーの実態調査を行う考えは。

健康福祉部長 現在は小中などに日頃の生活環境の中で把握してもらっているが、今年度実施予定の子ども条例アンケートに併せて項目を設けて実施したい。

問 実態の経年的な把握と適切な支援につなげるため、アンケートを継続的に実施しては。

健康福祉部長 対応の窓口になる市町村にとっては、定期的な調査よりも速やかな実態把握にいかにも努めるかが今後の課題になってくる。

継続的な調査は子ども条例の見直しの機会や他のアンケートを通じて実施できればと考えている。

問 ヤングケアラーを早期に見出し、支援につなげることが出来るよう相談体制の構築をするため、専門的な知識を有するコーディネーターを配置する考えは。

健康福祉部長 現在、検討中。「ごども家庭センター」を設置する際には、コーディネーターとして統括支援員を配置することとされており、保健師など各種専門職と一体的に支援体制を構築することを考えている。

ヤングケアラー

家族の介護や世話を日常的に行う18歳未満の子供

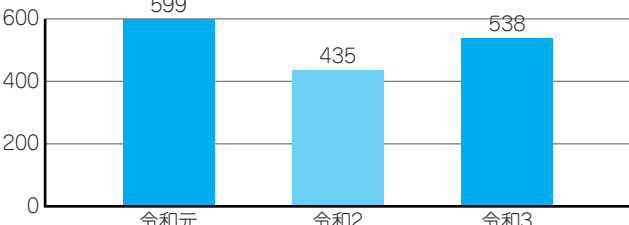
コーディネーター

ものごとを調整する役の人

20代、30代のがん患者支援 在宅支援事業を導入する考えは

部長 先進自治体などを参考に研究

全国を受診者数の推移(5つのがん検診計、延べ人数)(単位:万人)



(出典:公益財団法人日本対がん協会 2021年アンケート調査)

問 コロナ禍で低下しているがん検診の受診率向上のために、新たな施策が必要と考えるが、何か検討しているのか。

健康福祉部長 令和5年度に住民を対象とした健康実態調査を行う予定。その中で、がんや検診に対する考えやニーズを把握したり、受診率の高い自治体の情報を参考にし、新たな促進策を研究したい。

問 20代から30代の末期がん患者は、制度の狭間になり在宅医療サービス等は全て自己負担。がん患者が直面する課題に応じた支援が必要と考えるが、在宅支援事業を導入する考えは。

健康福祉部長 令和4年8月に愛知県より、県が補助制度を創設した場合の若年がん患者に対する支援制度の導入について意向調査があり、本町は実施すると回答。

現在、町全体で地域包括ケアシステムの推進に取り組んでおり、様々な制度の組み合わせによる経済的な支援や、先進自治体の取り組みを参考にしながら支援の在り方を研究していく。

定期検診を受けることが推奨される5つのがん

- ・胃がん
- ・肺がん
- ・大腸がん
- ・乳がん
- ・子宮頸がん



高齢者の外出支援

巡回バスの無料パス配布の考えは

部長 公平性や事業継続の観点から困難

問 町民で自動車の運転免許証（以下、免許証）を返納された方の推移はどのようか。

健康福祉部長 江南警察署に確認したところ、令和元年88件、2年90件、3年81件とのこと。なお、4年は10月末現在で61件。

問 この人数は高齢者人口増加によると考えられるものか。町はどのように分析しているか。

健康福祉部長 3年度から返納された70歳以上の方にコミュニティバスの回数券を配布。3年度は29人、4年度は10月末で19人が申請されており、70歳以上で返納される方が増えたと予想している。



令和4年12月定例会
一般質問（江幡議員）

問 外出支援でバスを利用される方が多いのではないか。名古屋市のように一定の年齢以上の方に無料パスを発行する考えは。

健康福祉部長 一般の方々や受益者負担による事業継続の考えから実現は難しく、一定金額の負担にご理解いただきたい。



70歳以上で免許証を返納された方には回数券の支援制度があります

旧統一協会問題

広報誌などで相談窓口の周知を

部長 周知できるように事務を進める

問 旧統一協会の問題について、高額献金や二世信者などの被害者から相談はあったか。

地域協働部長 町では相談窓口として法律相談や消費生活相談を行っているが、そのような相談案件は把握していない。

問 困っている方の相談窓口などを広報誌やホームページで知らせるようにはできないか。

地域協働部長 現在、相談している法テラスの靈感商法等対応ダイヤル（下記参照）の周知を広報誌で案内できるように事務を進めており、ホームページについては、相談窓口の案内を掲載したところ。

【相談窓口】
靈感商法等対応ダイヤル

フリーダイヤル
(0120)-005-931

平日

午前9時30分から午後5時まで



南保育園建て替えの考えは

町長 子供を中心とした拠点整備を検討



令和4年12月定例会
一般質問(倉知議員)

問 保育園、児童センター、児童クラブを一体化した多目的施設をつくる考えは。

町長 南保育園の老朽化や児童センターが

問 南保育園は、建設から40年近くたち、様々な不都合、不便が生じていると思つが、最近の修繕などの状況は。

健康福祉部長 令和元年度から3年度の間で、遊具再塗装、遊戯室の舞台幕取り替え・床改修、未満児室の畳床改修・窓修繕、高圧トランス取り替え、調理室器材の修繕などを実施した。

問 南児童センターは放課後児童クラブも兼ねており、その時間中は児童センターとして利用できるスペースが窮屈と声を聞く。町は児童センターの意義をどのように考えているか。

地域協働部長 今後の子供支援施策で、児童センターが果たす役割は益々重要になると考えている。

手狭になったことから、子供を中心とした拠点整備の検討を始めた。しかし、周辺には大切な農地が広がり、地元の方の理解が必要なため、今後、議員の皆さんや関係者の方々の協力を得ながら進めていきたい。



老朽化が目立つ南保育園

新型コロナ対策支援

近隣市町と協働で実施できないか

総務部長 調整を要するため迅速な対応が困難

問 毎日の新型コロナ感染者数の変化に大きなばらつきの原因があるのはなぜか。

健康福祉部長 国の法令改正により、保健所への届け出対象者が絞り込まれた。

これにより、医療機関の事務負担は大幅に軽減されたが、感染動向の把握が困難になることで感染対策の連続性が絶たれる懸念があることから、届け出対象者が否かを問わず感染者数の報告がされることになった。

また、公表されている感染者数は、医療機関の所在地別の人数であり、実際の居住地とは一致していないことも要因の一つ。

問 コロナ対策の支援制度には様々なものがあるが、自治体によって異なっている。

尾張北部地域で一部事務組合のようなシステムをつくり、みんなで考えることはできないか。

総務部長 各自治体により人口構成、産業構造、財政状況などが異なるため、必要な支援策は異なる。

また、広域での支援策を実施する場合には、関係団体との調整が必要となり、実施するまでに時間を要する。
地方創生臨時交付金の趣旨を見ても、各自治体が独自に判断し、機動力を持って進めることが得策と考えている。

議会あれこれ

西小学校長寿命化工事視察

令和4年11月24日、長寿命化改修工事開始から約1年が経過した西小学校を視察し、工事の進捗状況と今後の工事改修内容について説明を受けました。

この改修工事のメインでもある図書室は、調べ物などが出来るよう機能を充実させたメディアセンターとして改称されます。新しく設置された書棚に多くの本も並び始め、早期の完成が待ち望まれます。



メディアセンターとして生まれ変わる図書室

子ども議会参加者アンケート結果

議会では、平成24年度に町制50周年記念として「子ども議会」を開催しました。

60周年を迎えた今年度、当時、子ども議員として参加していただいた皆さんに、住みやすいまちづくりや議会への要望などのアンケートを実施しました。ご回答いただきました皆様、ありがとうございました。

頂いた回答は2割の方のみと少し残念な結果でしたが、皆様からのご意見は今後の住みやすいまちづくりに参考とさせていただきます。

おおぐち町民一日議会を開催します

〈令和5年2月26日(日) 午前9時30分開会〉

町民の皆さんが日々の暮らしの中で感じていることなどを質問や提案をしていただくことで、まちづくりへの関心と参画意識を高めていただくことを目的に、町制施行60周年を記念して「おおぐち町民一日議会」を開催します。

当日は一日議員として任命された6人の町民の方が自身の身近な問題について質問し、町長や各担当部長などが答弁をします。

この様子はYouTube（「大口町議会」で検索）で配信します。ぜひご覧ください。



一日議会の開催に向け、一日議員となる6人の町民の方にオリエンテーションを通じて議会の仕組みなどを学んでいただきました（令和4年11月14日）

